

未来をよろしく



いながわっ子!

「子育てするなら猪名川町」を掲げる本町では、乳幼児の子育て支援とともに、教育の分野にも力を入れています。今回は町の未来を担う子どもたちに向けて小・中学校、幼稚園で行われている取り組みを紹介します。

▼問合せ 学校教育課

(0766・6006)

10年後の未来は予測不可能

「今の子どもたちはどんな社会で大人になるのか」今後は日本の人口、労働人口も減っていきます。今から10年前のことを振り返ると、急速なスピードで世の中は大きく変化したことがわかります。10年後はさらに急激な変化が予想され、その流れの中で、現在世の中にある職業の半分以上がなくなり、また新たな職業が生まれるとも言われるほどです。

予測不可能な社会に、今の子どもたちは対応していかなければならぬのです。

「やってみよう」の気持ちを

これからの社会を生きる子どもたちには「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」が必要だと言

われています。

なかでも、「学びに向かう力」は重要で、悩んだり困難なことにもぶつかったりした時にも、あきらめずに「やってみよう!」と立ち向かう気持ちを養うことがとても大切です。

重点的な取り組み

町の教育は、子どもたちが大人になった時に活躍できる力をつけるために取り組んでいます。国や文化の異なる人と対話できるように、コミュニケーション能力を高くするための英語教育。健康な心身を手に入れるための体づくりや知識を定着させるための家庭学習、猪名川町のことを学ぶふるさと教育などに重点を置いています。



全国に先がけて実施！ 幼・小英語教育

町独自の取り組みをスタート

国では、グローバル化に対応した英語教育の強化・充実を図るため、平成32年度から小学校5・6年生に外国語の教科化、3・4年生に外国語活動の導入が決定しています。

町では全国に先がけて、今年度から小学校全学年の外国語活動の授業にALT（※）を派遣し、英語に慣れ親しむ機会を設けています。さらに町立幼稚園でも中学校のALTを派遣し、英語教育に取り組んでいます。

※ALT＝外国語指導助手
Assistant Language Teacher



幼稚園英語教育



子どもたちにも大好評！

1学期末に全6小学校で行った、外国語活動のアンケート結果では9割以上の子どもたちが、「英語の授業が楽しい」「英語の授業をもっと受けたい」と答えており、英語に対して前向きな姿勢であることがわかりました。

小学校の英語教育

ALTのサポートのもと行う小学校の英語の授業。先生手作りの教材を使ったり、ゲームを織り交ぜたり、子どもたちの発言する機会やクイズメイトとのやり取りも多く、とても楽しい雰囲気での授業です。

今回、松尾台小学校と楊津小学校で話を聞きました。

楊津小学校

西垣先生 クラスの誰か一人でも「わからなかった」と思うことがないよう、全員が楽しめる授業を心がけています。子どもが主役なので、自分が喋りすぎず、体を動かすゲームなども盛り込んでいます。できるだけ子どもたちの活動を中心に授業をすすめるよう意識しています。

エリック先生 英語を通して、自分たちが育った町のことを「猪名川町はこんないまちだよ」と発信できるようになってほしい。海外から来られた方に対して受け身ではなく、自分から発信するツールとして英語を使えるようになったらいいと思います。子どもたちは日常的にカタカナ英語を使っているので、発音を変えて英語の単語だということを伝えるながら、難しくせず、簡単すぎずちよつと背伸びするくらいの授業を心がけています。



西垣先生（左上）



エリック先生



将来差がつく幼稚園での「リズム運動」

リズム運動とは

町立幼稚園の4園では、「健康な心と体」を身につけるためのリズム運動に力を入れています。



子どもの発達は運動や知能、言語などの力が全て関連して、全身運動はその土台になっています。リズム運動は、音楽に合わせて体を大きく動かしたり、様々な動きをすることで楽しみながら体の発達を促します。全身をのびのびと動かす心地よさを感じることで、リズムに合わせて体を動かす楽しさを味わうことができます。

現代の多くの子どもの課題

姿勢を保つことが難しく、つちふまずが未形成、転んだ時に手を付けない、落ち着き

あとで差がでる効果！

「学校の授業に集中しにくい」など、聞くことが苦手な場合、体がしつかり育っていないことが原因かもしれません。体幹が弱い、腹筋が足りないということが肘をついて座る癖につながることもあります。体幹を鍛えるということはとても大切で集中力につながり、聞く力にもつながるのです。

幼児期に全身運動をするとしっかりと集中できる力、聞く力がつき、学力アップにもつながります。



リズム運動で

聞く力が身につく！

幼稚園の先生より、まっすぐ並んで歩く、誰かの後ろに間隔をあけて歩くことはとても難しく、ともだちときれいな列になって並んで歩くことができることって、実はすごいことなんです。こういう取り組みの積み重ねが基礎となって体の軸をつくり集中力を高めます。学校の先生から「授業を落ち着いて聞ける子が多いね」と言われると、幼稚園での活動が役に立っているんだなど実感し、うれしいです。



ふるさとを知る 「多田銀銅山 社会見学」

全小学校で実施

自分のふるさとが大好きで大切に思う心は、大人になり広い社会に出た時に、心の支えや励みになります。町では、ふるさとのことをもっと好きになってもらおうと、子どもたちが歴史文化に触れる機会として、今年度より全6

小学校で多田銀銅山の社会見学を開始。学芸員や観光ボランティアガイドの案内のもと、悠久の館・青木間歩・悠久広場を中心に見学をします。

ふるさとを誇りに思えるように

社会見学後のアンケートでは「社会見学で初めて多

田銀銅山を訪れた人」が全体の半数以上。多田銀銅山のことをあまり知らない子どもが多いことが現状です。猪名川町発展の基盤となった遺跡を見学し、学ぶことで、猪名川町には「国史跡多田銀銅山遺跡」という全国に誇るべきものがあると知り、将来自分がどこにいても

自分のふるさとを大切に思い、伝えることができるよう「ふるさと教育」を行っています。

子どもの興味を高める

悠久の館では、展示物を見るだけでなく、鉱石の重さ比べや鉱山で使われた道具のレプリカなど実際に触れることができるものもあり、子どもたちの興味につながっています。また、ロボットを使っ

来館者にも大好評



「銀山しんぶん展」(悠久の館)